



〒470-0162

愛知県愛知郡東郷町春木白土1-242

株式会社喜多村

営業部 ニュースレター係

N-Plus N-Plus(エヌプラス)に出展します

日時：2024年10月9日(水)～11日(金) 10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 東ホール

URL：<https://www.n-plus.biz>

PIR品（市場に出る前の製品製造工程で発生した端材等）から製造され、お客様の製品のCO2低減に貢献するKT/KTLシリーズ”に加えて、4月1日に上市したプライム原料由来の新製品を展示します。下記日程で営業が常駐しますので、お打ち合わせを希望されるお客様は、事前に担当までご来場日時をご連絡いただきますとスムーズです。

	営業担当者	10月9日(水)	10月10日(木)	10月11日(金)
フッ素部門営業	橋本	○	○	○
	貝川	○	×	×
	西田	×	×	○
	平田	○	○	○
	後藤	×	○	×

PTFEマイクロパウダー中のPFCAs(C9-C14)

電離放射線照射工程を経て製造されたPTFEマイクロパウダーは、C9-C14PFCAが副生することが確認されています。現在、EU REACHではPTFEマイクロパウダー及びそれを使用した工業用、専門的用途の混合物中に存在するC9-C14PFCAの閾値（合計の濃度上限値）を、適用除外として1,000ppbとしてきましたが、欧州委員会は2024年8月25日までにこの適用除外を見直す方針です。見直しにより適用除外が撤廃されるのか、新たな閾値が設定されるのかは、現時点で不明です。最新情報はECHAのHPをご確認ください。

URL：<https://www.echa.europa.eu/>

FCJ PFAS最新規制動向ウェビナー 8月公開予定

下記4テーマについてのウェビナーが8月1日から公開予定です。

1. 欧州PFAS規制の最新動向
2. 米国連邦・各州PFAS規制の最新動向
3. 国連や日本のPFAS規制化動向
4. PFAS規制化の解説

視聴方法など詳細については、FCJのHPをご確認ください。

URL：<https://cfcpj.jp/webinar-info.html>

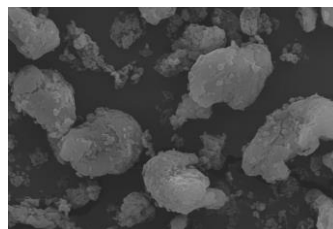
KTL-8FH(PFOA規制対応品)を上市します

永らくお待たせいたしました。PFOA含有量を25ppb以下に低減したKTL-8FH(PFOA規制対応品)が完成しました。

KTL-8FHは未焼成PTFE微粉末の凝集体で、KTL-8Fよりも高分子量のため、さらに優れた耐熱性や摺動性を示します。また、KTL-8Fと同様に比表面積・吸油量が大きく、液体中に分散させた場合に沈降しにくく、塗膜の表面に出やすいという特徴を持ちます。

サンプル手配も可能です。担当営業までお問い合わせください。

物性	規格
MAX. 粒子径	18.50 μm 以下
50%粒子径	3.50 $\pm$ 1.00 μm
見掛け密度	0.40 $\pm$ 0.10g/ml
耐熱温度(TGA)	300 $^{\circ}\text{C}$



10 μm

号外！ 喜多村古川工場自然農園 古川工場で野草狩り

喜多村のPTFE潤滑用添加剤K/KTLの製造を一手に担うのが、岐阜県飛騨市にある古川工場。飛騨古川駅から車で20分ほどの、山に囲まれた自然豊かな地です。5月中旬に工場へ行く機会がありまして、工場事務所でおしゃべりしている中で「小豆菜」という初耳ワードが出てきました。「山菜やさ、天ぷらにするとおいしいんやさ」「そのへんに生えとるよ」「若芽を食べるんやさ」「帰りに摘んでいく人もおるぞ」どうやら古川工場では常識らしい。「コゴミも出るぞ」「ワラビも出るぞ」とな。これは食いしん坊の血が騒ぎます。早速、敷地内の野草狩りに出発。



さすがにヨモギはわかる。西田農園では雑草扱い。



フキ。愛知県はフキの生産日本一だけあって、こちらですぐわかった。



「ヨモギとフキしかない!!」と泣きついたら案内をしてくれた総務の小峠さん。師匠と呼ぶことにしました。「アサツキ生えとるよ」



噂の小豆菜。見た目は徒長した小松菜の新芽。早速生で実食。茎の瑞々しさとさわやかな甘さが印象的。おいしい。



小豆菜の新芽。皆ひょいひょい見つけるのに、私にはどうやってもわからない。



新芽を摘みとられた小豆菜。私はこのサイズでも見つけられなかった…。



生えているのを初めてみた。コゴミかゼンマイか、見分けがつかない。師匠「ゼンマイやさ」



山椒。こちらもさっそく味見。葉っぱが柔らかくて蒸り高い。そして栽培品より刺激が強い。



西田「これ成長した小豆菜？」 師匠「シシウド！食べられんよ！」すんごい苦い山菜らしいです。



成長しすぎたコゴミの最終形態。ジュラシックパークのセットに出てきそう。



後日師匠師が送ってくれた写真1。ウルイ。スーパで見たときはトレイにうやうやしく鎮座していた。



師匠が送ってくれた写真2。食べごろのワラビ。



師匠が送ってくれた写真3。ウド。酢味噌もおいしいね。

野草狩りをするときは、必ず詳しい人と一緒に！うっかり毒草を誤食する事故は毎年どこかで起きてます。熊との遭遇にも十分にお気をつけを。熊に襲われたときには、首の後ろで手を組んで丸まって伏せ、急所の首を守るのだそうです（古川工場で伝授してもらいました）。なにはともあれ遭遇しないのが一番です。ご安全に。



不定期連載西田農園 vol.8

農園、もらい事故の憂き目に遭う。

西田農園は交差点の角に位置しています。信号もある見通しがよい直線道路ですが、それなりに交通量があり、事故がよく起きる地点です。ですが今回はスケールが違いました。6月なかばに、警察から車が農園に飛び込んだとの連絡がありました。車2台の事故で、うち1台がガードパイプをなぎ倒して畑に転がっている、かなり被害が出ているから事故車の保険会社に連絡したほうがいいよ、とのことでした。

数日後現状確認に行きますと、ガラス片と樹脂片とネジが約10m四方にわたって飛散した状態でした。のり面は削れ、柵は折れ、植え付け準備済の畝は潰れ、収穫間近のニンニクは壊き潰され、種採り用に温存していたニンジンとブロッコリーの株も消えているという有様。ガラスが散乱した状況では、危なくて畑仕事もままなりません。そして6月は夏野菜苗の植え付けの最盛期、待ったなしの状況です。

早速、保険会社に連絡しました。その第一声「このたびはご迷惑をおかけして申し訳ありません。あの、大きなゴミは拾ったんですけど」。確かにガードパイプと車と人間は回収されていましたが、問題は微細なガラスとプラスチックの欠片なんですよ…。

保険会社と交渉を繰り返し、まだ植え付けをしていなかった部分の表土を剥ぎ取り、土を入れ替えてもらうことになりました。大事に育ててきた土でしたが、致し方ありません。夏野菜植え付けのタイムリミットもあるので、山砂と腐葉土と籾殻燐炭と牛糞堆肥を入れてもらうことで妥協しました。しかし、重ねてタイミングの悪いことに、梅雨が到来。土が固く締まるので、雨が乾くまで畑には入れません。7月5日現在もまだ土は入らず！もう夏野菜の植え付けタイミングには間にあわず、時期を過ぎて徒長した苗とともに、しょんぼりしています。

保険会社との交渉において、この西田農園記事がエビデンスとなり、有機堆肥や籾殻燐炭も要求した分量を入れてもらえることになりました。ほんと、人生何が役に立つかわからないものです。みなさんどうぞ気を付けて、安全運転でよろしく願いいたします！



左手が農園。右のパイプ2本を踏み台にして、その次のパイプ台でジャンプして、ひねり回転で着地したのかと予想する。



草取りしつづ小さいゴミ集め。謎の薄いプラスチックの定義よりは大きそう。5cmくらいの合わせガラスは、フロント部分？



小さい？ゴミ。マイクロプラスチックの定義よりは大きそう。5cmくらいの合わせガラスは、フロント部分？



小さい？？ゴミ。これはテールランプでしょうか。



小さい？？？ゴミ。大きき比較で手袋をおいてみました。ヘッドライト周りのなにか？



受託粉体加工、フッ素樹脂 (PTFE) 潤滑用添加剤

株式会社 喜多村

〒470-0162 愛知県愛知郡東郷町春木白土1-242

TEL:052-803-5151 FAX:052-803-5190

URL:<http://www.kitamura ltd.jp/> Mail:info@kitamura ltd.jp

送付先の変更・配信停止ご希望の方は、お手数ですが、上記TELまたはMailにてご連絡ください。